

■税額控除

●配当控除

株式の配当などの配当所得があるときは、その金額に下記の表の率を乗じた金額が、所得割から差し引かれます。ただし、申告分離課税を選択した場合は適用されません。

課税総所得金額 種類		1,000万円以下の部分		1,000万円超の部分	
		市民税	道民税	市民税	道民税
利益の配当等		1.6%	1.2%	0.8%	0.6%
私募証券 投資信託等	外貨建証券 投資信託	0.4%	0.3%	0.2%	0.15%
	外貨建証券 投資信託以外	0.8%	0.6%	0.4%	0.3%

●配当割の控除

前年に配当割等を特別徴収された所得を申告した場合に所得割から控除し、控除しきれない場合は均等割に充当されます。充当しきれなかった額については還付となります。

●外国税額控除

外国の法令により課された所得税・住民税に相当する税と、日本国において課される所得税・住民税とで国際間の二重課税にならないよう調整する控除です。

●住宅借入金等特別税額控除（住民税の住宅ローン控除）

対象者は、前年分の所得税で住宅ローン控除の適用を受けた下記の居住開始年月日の方です。

平成21年から令和3年12月までに入居の方

※平成19年及び平成20年中に入居された方については、住民税の住宅ローン控除が適用されない代わりに、所得税の住宅ローン控除適用期間について10年又は15年のいずれかを選択できる特例措置が適用されています。

※居住年月日が令和元年10月から令和3年12月で特別特定取得の場合、控除期間3年延長。各年において、①建物購入価格の2/3%、②年末残高の1%のいずれか少ない額が控除されます。

■控除額の算出

- 所得税の住宅ローン控除可能額のうち所得税から控除しきれなかった額。
- 居住開始年月日が平成26年3月31日以前の場合は、前年分の所得税の課税総所得金額等に5%を乗じて得た額（最高97,500円）。

居住開始年月日が平成26年4月1日から令和3年12月31日までで、当該住宅の取得等が消費税率8%又は10%の特定取得である場合には、前年分の所得税の課税総所得金額等に7%を乗じて得た額（最高136,500円）。ただし、住宅取得にかかる消費税率が5%の場合は、所得税の課税所得金額等に5%を乗じて得た額（最高97,500円）。

※(1)(2)のいずれか少ない金額を所得割額から控除します。

※住宅借入金等特別税額控除に係る改正につきましては、当市ホームページ「令和4年度課税からの改正について」をご覧ください。

●寄附金税額控除

次に掲げる寄附金を支出したときは、下記の計算式により算出した額が所得割から差し引かれます。

計算式 { 寄附金の額（総所得金額等の30%を限度） - 2,000円 } = (A)

寄附先	市区町村 都道府県	日赤北海道支部 北海道共同募金会	苫小牧市・北海道が条例で定める 公益法人等
基本控除	(A) × 10%	(A) × 10%	苫小牧市が条例で定める寄附 (A) × 6% 北海道が条例で定める寄附 (A) × 4%
特例控除	(A) × (90% - 所得税の限界税率) ※個人住民税所得割の2割を限度	—	—

※市区町村・都道府県へ寄附したときに限り、基本控除に加えて、特例控除の適用を受けることができます。